令和２年11月５日

会　　員　　各　　位

一般社団法人　愛知県建設業協会
専務理事　大　西　克　義

「第14回河川財団名古屋研究発表会」開催ご案内について

標記につきまして、このたび、公益財団法人河川財団名古屋事務所から、別紙のとおり同財団での研究発表並びに河川基金助成事業成果発表を開催する旨、案内がありましたので、お知らせいたします。

以　上

令和２年11月吉日

各　位

公益財団法人河川財団　名古屋事務所
所長　山内　博

「第14回　河川財団名古屋研究発表会」開催案内

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より当財団の運営につきまして格別のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

当財団は、河川整備基金の運営、河川に関する総合的な調査研究、河川教育の普及や人材の育成、河川健康公園の運営などの事業並びに事業成果の社会還元をもって、国民の生活環境の向上に寄与するため、昭和50年に「財団法人河川環境管理財団」として設立され平成25年4月1日からは、「公益財団法人河川財団」として公益事業を実施しております。

今年度は新型コロナ禍でもあり開催につきまして検討をしてまいりましたが、感染症対策に万全を期すことにより、今年も河川財団名古屋研究発表会を、本年12月9日（水）に名古屋銀行協会会館　大ホールにて開催させていただくこととしました。

講演では、当財団の研究アドバイザーでもある**名古屋大学 大学院工学研究科　土木工学専攻 教授　戸田　祐嗣**　氏に**「河道維持管理を起点とした河川水理・土砂水理・植生水理の再体系化を目指して」**と題して御講演頂きます。

当財団の研究発表としまして、**「河道評価における侵食・洗掘評価技術の進展に向けて」「河道維持管理における流下能力評価の拡充」「河川維持管理における三次元等データの効果的な活用」**3題について発表します。

また、当財団の河川基金助成事業成果発表としまして、地元中部の研究者の皆様の中から**「川のアクティブラーニング」～ESDで取り組む「川の学び方」～**について（特非）e-plus生涯学習研究所　小林　由紀子　氏に、また**「官民連携の河川管理に向けた河川協力団体の活動特性の把握と運用課題に関する全国調査」**について**土木研究所（自然共生研究センター）専門研究員　坂本貴啓**　氏に発表していただきます。

本年は、コロナ対策としまして、広い会場で募集人数も少なくさせていただき、三密の対策に加え、受付時に別添の健康調査票を提出いただきます。募集人数も少なくなりますが、多くの皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願いします。

担当　調査係　奥田、小野
TEL. 052-388-7891　FAX. 052-388-7918
E-mail:okuda-y@nagoya.kasen.or.jp

この「第14回 公益財団法人河川財団 名古屋研究発表会」は「土木学会CPDプログラム」として認定されています。

第14回
公益財団法人 河川財団 名古屋研究発表会

―河川財団研究発表並びに河川基金助成事業成果発表―

日時 令和2年 12月9日(水)
13:00～16:30

交通
- 地下鉄桜通線「丸の内」駅4番出口より徒歩6分
- 地下鉄鶴舞線「丸の内」駅1番出口より徒歩6分
- 下鉄名城線「市役所」駅4番出口より徒歩8分

会場 名古屋銀行協会会館　5階　大ホール
名古屋市中区丸の内2丁目4番2号　TEL.052-231-8311

プログラム

13:00　開会・主催者挨拶……名古屋事務所長　山内　博
13:03　河川財団・河川総合研究所長挨拶……河川総合研究所所長　藤田　光一
13:06　来賓挨拶……中部地方整備局 河川部 河川調査官　川瀬　宏文

講　演

13:10　「河道維持管理を起点とした河川水理・土砂水理・植生水理の再体系化を目指して」
……名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授　戸田　祐嗣

14:10　休憩―10分

研　究　発　表

14:20　「河道評価における侵食・洗掘評価技術の進展に向けて」
……河川総合研究所 研究員　桐生　真澄

14:40　「河道維持管理における流下能力評価の拡充」
……河川総合研究所 研究員　本田　洋平

15:00　「河川維持管理における三次元等データの効果的な活用」
……河川総合研究所 研究員　塩谷　優太

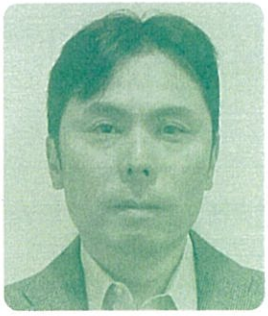
15:20　休憩―10分

基金助成事業成果発表

15:30　「川のアクティブラーニング」～ESDで取り組む「川の学び方」～
……(特非)e-plus生涯学習研究所　小林由紀子

15:55　「官民連携の河川管理に向けた河川協力団体の活動特性の把握と運用課題に関する全国調査」
……土木研究所(自然共生研究センター)専門研究員　坂本　貴啓

16:20　閉会挨拶……経営企画部長　浅野　和広
16:30　閉会



講演者プロフィール　名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授　**戸田 祐嗣**（とだ ゆうじ）

略　歴：
1995年　東京工業大学 工学部 土木工学科 卒業
1996年　東京工業大学工学部文部技官
1997年　東京工業大学工学部助手
2004年　名古屋大学大学院工学研究科講師
2006年　名古屋大学大学院工学研究科准教授
2015年～　名古屋大学大学院工学研究科教授

所属学会等：土木学会、国際水理学会、応用生態工学会
取得学位：博士(工学)(東京工業大学、2002)
専門分野：河川工学、環境水理学。

主な研究分野：
河道内の樹木繁茂と河川地形の相互作用、河川流－物質循環－生態系統合解析モデル開発などに従事。最近は、河岸・堤防侵食リスク評価に関する研究技術開発に取り組んでいる。土木学会水工学委員会・河川部会長、国土交通省・気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会委員、安倍川流域委員会委員長などを歴任。

主催／公益財団法人 河川財団 名古屋事務所　〒463-0068 名古屋市守山区瀬古三丁目710番地　TEL 052-388-7891

裏面の「新型コロナウイルス感染拡大について」の遵守をお願い致します。

▼ 裏面に申込書があります

定　員	70名　コロナ対策のため昨年の約半分の定員となっており、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。早めの申し込みをお願いします。
参加費	無　料
申込方法	参加ご希望の方は下記の申込書に必要事項をご記入の上、**11月30日(月)までにFAX又は、メールで**お申し込み下さい。
問い合わせ先	(公財)河川財団 名古屋事務所　[担当：奥田] TEL.052-388-7891　FAX.052-388-7918

第14回 河川財団 名古屋研究発表会

参加申込書(送信様式)

052-388-7918までFAX
又は、
okuda-y@nagoya.kasen.or.jp
までメールして下さい。

連絡先

会社名 団体名等			
住　所	〒　　－		
TEL	(　　)	FAX	(　　)
mail			

参加者氏名	所　属	参加者氏名	所　属
(参加代表者氏名)			

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は本研究発表会の運営管理のみに使用します。

※申込書は当財団のホームページの「TOP・お知らせ」からダウンロードできます。

https://www.kasen.or.jp

新型コロナウイルス感染症対策について

発表会では新型コロナウイルス感染予防対策として、右記の項目を実施します。
皆様のご協力とご理解をお願い致します。

- 当日受付にて検温を行わせていただき、37.5度以上の方の入場をお断りする場合があります。
- 入室時にはアルコール消毒液での手指の消毒及び会場内でのマスク着用をお願いします。
- 受講者同士の密集を抑制するため、会場内では資料を配布した席に着席をお願いします。
- 来場者及びスタッフ等で感染が発生した場合の感染拡大防止のため、発表日より2週間以内に参加者に陽性反応が出た場合には、速やかに上記連絡先までご連絡お願いします。
- その他、当日は感染予防に対するスタッフからの指示に沿って行動して下さい。

第14回河川財団　名古屋研究発表会　参加者健康状態調査票

開催日　：　令和2年12月9日（水）

※　この調査表は、当日の受付確認時に必要となります。
恐れ入りますが、参加人数分コピーいただき、研究会開催当日朝の体調について御記入の上、当日受付においで下さい。

住所又は会社名	
氏　名	
電話番号	

健康状態	朝の体温	℃
	体がだるい、強い倦怠感がある	はい・いいえ
	発熱や風邪のような症状がある	はい・いいえ
	睡眠はとれていますか	はい・いいえ
	急性呼吸器症状のある人と接触しましたか	はい・いいえ
	その他申し出しておきたいことがありますか	はい・いいえ
その他記入欄	貴方の近親者で新型コロナ陽性者はいますか	はい・いいえ
	※こちらで配慮が必要なことがあればご記入ください	

※　調査表の記載について、ご不明な点がありましたら以下にお問い合わせ下さい。

052-388-7891

河川財団名古屋事務所　　奥田、小野